

肉用牛肥育経営安定特別対策事業（牛マルキン事業）の
補填金単価（概算払）について

【平成30年8月分】

平成30年8月に販売された交付対象牛に適用する肉用牛肥育経営安定特別対策事業実施要綱（平成25年4月1日付け24農畜機第5478号）附則9の概算払の補填金単価については、下記のとおりです。

なお、補填金単価の確定値については、11月上旬に公表する予定です。

記

肉専用種
104,900円

- 注1：平成23年度第2四半期以降の補填金について、月毎に支払う方式としています。
- 注2：交雑種及び乳用種の補填金単価については、独立行政法人農畜産業振興機構が下記のホームページで公表します。
(<http://www.alic.go.jp/operation/livestock/assistance-marukin.html>)
- 注3：平成26年度より、四半期の最終月以外に販売された交付対象牛について、肥育牛補填金の概算払を行うこととしています。精算払については、四半期の最終月の補填金交付とあわせて行います。
- 注4：概算払は、配合飼料価格安定制度の当該四半期の補填金がないと仮定して計算した額より4,000円を控除した額としています。ただし、控除した額が1,000円未満の場合は概算払を行いません。
- 注5：補填金交付額に見合う財源が不足する場合等、上記補填金単価を減額することがあります。
- 注6：平成26年4月分から、消費税抜きで算定しています。

連絡先

担当：牛田

電話：095-843-8825

(参考1)

平成30年度 牛マルキン事業補填金算定基礎(肉専用種)

【平成30年8月】

※ 県独自に算定を実施。

(単位：円/頭)

区 分	肉専用種
粗収益 (A)	1,185,630
生産コスト (B)	1,306,723
差額 (C) = (A) - (B)	△ 121,093
暫定補填金単価 (D) = (C) × 0.9	108,900
補填金単価(概算払) (D) - 4,000	104,900

粗収益 (A) = ① + ②	1,185,630	
主産物価格 ① = a × b	1,175,511	※
枝肉市場価格 (円/kg) a	2,337	※
枝肉重量 (kg) b	503	※
副産物価格 ②	10,119	
生産コスト (B) = ⑤ + ⑥ + ⑦ + ⑧	1,306,723	
物財費 ③	1,206,756	
もと畜費	846,061	※
飼料費	285,049	
流通飼料費	283,426	
麦類	11,504	
とうもろこし	11,654	
ふすま	11,176	
かす類	7,747	
配合飼料(暫定値)	196,566	
稲わら	23,838	
その他	20,941	
牧草・放牧・採草費	1,623	
敷料費	11,756	
光熱水料及び動力費	12,057	
その他の諸材料費	161	
獣医師料及び医薬品費	10,352	
賃借料及び料金	5,100	
物件税及び公課諸負担	4,952	
建物費	12,418	
自動車費	7,036	
農機具費	9,854	
生産管理費	1,960	
労働費 ④	74,960	
家族	68,702	※
費用合計 ⑤ = ③ + ④	1,281,716	
支払利子 ⑥	13,768	
支払地代 ⑦	542	
と畜経費 ⑧	10,697	

注1：補填金単価は100円未満切り捨て。

2：平成26年度より、消費税抜きで算定。

(参考2)

主産物価格及びもと畜費の算定

1 主産物価格の算定

主産物価格は、牛個体識別全国データベースをもとに、本県からの出荷状況を考慮し、選定した以下の卸売市場における食肉流通統計（農林水産省公表）の取引データと本県における相対取引のデータをもとに算定しています。

【算定に用いる卸売市場】

佐世保市食肉地方卸売市場、福岡市中央卸売市場、京都市中央卸売市場、大阪市中央卸売市場南港市場、神戸市中央卸売市場

2 もと畜費の算定

もと畜費は、牛個体識別全国データベースをもとに、本県への導入状況を考慮し、選定した以下の家畜市場における肉用子牛取引情報（(独)農畜産業振興機構公表）の取引データをもとに算定しています。

【算定に用いる家畜市場】

県南家畜市場、五島家畜市場、壱岐家畜市場、平戸口中央家畜市場、ホクレン十勝地区家畜市場、ホクレン北見地区家畜市場、八重山家畜市場、都城地域家畜市場、宇久小値賀家畜市場、ホクレン南北海道家畜市場、肝属中央家畜市場、小林地域家畜市場、豊後玖珠家畜市場、佐賀中央家畜市場、豊後豊肥家畜市場、天草家畜市場、熊本県家畜市場、延岡家畜市場、与論家畜市場、山口中央家畜市場